

- 1 単元 段落どうしの関係をとらえ、説明のしかたについて考えよう
「アップとルーズで伝える」 『クラブ活動リーフレット』を作ろう

2 指導観

- 子ども達は、これまで第3学年「こまを楽しむ」の学習では、「問いと答え」を見付けることや「初め・中・終わり」の段落構成について考えること、各段落の要点をまとめることなどの学習を行ってきた。第4学年「動いて、考えて、また動く」の学習では、それらに加えて、「事実」と「考え」を読み分けること、「事例」と「根拠」を読み取ることなどを学習してきた。本学級の子供達は、「問いと答え」を見付けることや「このように」などの言葉に着目して文章を「初め・中・終わり」に分けることができるようになってきた。そこで、文章全体の構成や文、段落の関係から筆者の説明の工夫を分析的に読むことができるようになるこの期に、本単元を取り上げる。このことは、意見と事例との関係や複数の事例同士のつながりを考えながら筆者の意図を読む児童を育てる上で意義深い。
- 本単元は、テレビや新聞などの情報は送り手の価値判断や意図に基づいて取捨選択されていることについて、「アップ」と「ルーズ」という基本的な表現技法を通して述べた文章である。また、文章と関連した写真が示されており、写真と文章を対応させながら読み深めていく事にも適した教材でもある。また、習得した表現の工夫を第二教材「クラブ活動リーフレット」に書く言語活動に生かすことができ、主体的に読み深めていくのに適した教材である。
- 本単元の指導にあたっては、文章全体の構成に基づき、対比や強調の段落関係や写真と合わせて説明する説明の仕方の工夫について追究する。また、対比や強調の段落関係や写真と合わせて説明することのよさを明らかにすることで、説明の工夫をしながら「クラブ活動リーフレット」を書くことをねらう。そのために、文章全体の構成を理解し、説明の仕方の工夫について、接続語や文末表現、写真に着目しながら読み進めていく。
尚、本時指導にあたっては、「しかし、でも(逆説)」や「～分かります。」「～分かりません。」に着目し、目的に応じて使い分けるために比べやすいよう「アップ」と「ルーズ」の長所と短所を対比していることを読み取ることができるようにする。その際、長所と短所を書きぬくことが難しい児童が予想される。そこで、「分かります。」「分かりません。」という文末表現に着目させることで、長所と短所を読み取ることができるようにする。

3 目標

- 自分のクラブを紹介することに関心をもち、段落相互の対比や強調の関係を明らかにしたり、工夫を生かしながら紹介の文章を書いたりしようとする態度を育てる。
- 「はじめ・中・終わり」の構成をもとに、対比強調の段落関係や写真と文章を関係づけながら、説明の工夫とそのよさについて自分の考えをもち、文章を書くことができる。
- 指示語や接続語が、文や段落の関係を示す手がかりになることを理解することができる。

4 本単元の学習活動(13時間)

- 1 「クラブ活動リーフレット」を書く学習課題をもち、読みのめあてを確認する。————— 1
- 2 分かりやすく伝える文章を書くために、説明の仕方についての工夫を見つける。————— 4
 - ①「はじめ・中・おわり」に段落を分け、各段落での要点を読む。……………①
 - ②「はじめ」を読み、段落相互の対比関係とそのよさを考える。……………①
 - ③「事例1」の長所と短所を読み、それぞれの対比関係とそのよさを考える。……………①本時
 - ④「事例2」「おわり」を読み、他段落とのつながりを考える。……………①
- 3 リーフレットに書く自分の主張や内容を決める。————— 5
- 4 説明の仕方を工夫しながらリーフレットを書き、交流する。————— 3

5 本時 平成30年10月4日(木) 第 校時 於4年2組教室

6 主眼

- 接続語や文末表現に着目し、写真と叙述を合わせながら読む活動を通して、「アップ」と「ルーズ」の長所と短所を対比することで、比べやすくなり目的に応じて使い分けができるという対比することのよさを読み取ることができるようにする。

7 本時の学習活動(4/13)

段階	学 習 活 動	具体的な手立て※評価															
<p>説明</p> <p>理解確認</p>	<p>1 本時学習のめあてをつかみ、接続語や文末表現をもとに、「アップ」と「ルーズ」の長所と短所を表す言葉をおさえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">事例1の説明の工夫を読み取ろう。</div> <table border="1" style="margin: 5px 0;"> <tr> <td>長所を表す文末</td> <td>～分かります。</td> </tr> <tr> <td>短所を表す文末</td> <td>～分かりません。</td> </tr> <tr> <td>接続語(逆説)</td> <td>しかし、でも</td> </tr> </table> <p>2 接続語や写真を説明している叙述に着目し、「アップ」と「ルーズ」の長所と短所を読み取る。</p> <table border="1" style="margin: 5px 0;"> <thead> <tr> <th></th> <th>長所</th> <th>短所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アップ</td> <td>アップで見ると、細かい部分の様子がよく<u>分かります</u>。</td> <td>走っている選手以外の、うつっていない多くの部分のことは、アップでは<u>分かりません</u>。</td> </tr> <tr> <td>ルーズ</td> <td><u>しかし</u>ルーズでとると、広いほんのの様子がよく<u>分かります</u>。</td> <td><u>でも</u>、各選手の顔つきや視線、それらから感じとられる気持ちまでは、なかなか<u>分かりません</u>。</td> </tr> </tbody> </table>	長所を表す文末	～分かります。	短所を表す文末	～分かりません。	接続語(逆説)	しかし、でも		長所	短所	アップ	アップで見ると、細かい部分の様子がよく <u>分かります</u> 。	走っている選手以外の、うつっていない多くの部分のことは、アップでは <u>分かりません</u> 。	ルーズ	<u>しかし</u> ルーズでとると、広いほんのの様子がよく <u>分かります</u> 。	<u>でも</u> 、各選手の顔つきや視線、それらから感じとられる気持ちまでは、なかなか <u>分かりません</u> 。	<p>【予習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「アップ」「ルーズ」の写真を説明している叙述に線を引く。 <p>【困難度査定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 長所と短所という言葉だけでは、どこに着目して叙述を抜き出したらよいか分からない児童がいると予想される。 ○ 「分かります。」「分かりません。」といった文末表現に着目したり、写真と叙述を合わせたりしながら、長所と短所を具体的にとらえさせる。
長所を表す文末	～分かります。																
短所を表す文末	～分かりません。																
接続語(逆説)	しかし、でも																
	長所	短所															
アップ	アップで見ると、細かい部分の様子がよく <u>分かります</u> 。	走っている選手以外の、うつっていない多くの部分のことは、アップでは <u>分かりません</u> 。															
ルーズ	<u>しかし</u> ルーズでとると、広いほんのの様子がよく <u>分かります</u> 。	<u>でも</u> 、各選手の顔つきや視線、それらから感じとられる気持ちまでは、なかなか <u>分かりません</u> 。															
<p>理解深化</p>	<p>3 「なぜ、長所だけではなく短所を対比して書いてあるのか。」という理由を第6段落のまとめとつなげながら読み深める。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・長所だけでなく短所も書くことで、違いを比べやすくするため。 ・目的に応じてアップとルーズを使い分けができるようにするため。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 目的におうじて使い分けができるように、「アップ」と「ルーズ」の長所と短所を対比して説明する工夫。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「アップ」の長所は「ルーズ」の短所を補い、「ルーズ」の長所は「アップ」の短所を補っていることを図を用いて確認しながら、第6段落とつなげて考えさせる。 <p>※「アップ」と「ルーズ」の長所と短所を対比するよさを読み取ることができる。</p>															
<p>自己評価</p>	<p>4 本時の学習を振り返り、次時の学習課題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習内容を振り返る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・段落同士の対比だけではなくて、一つの段落の中で対比を使うととってもわかりやすいと思いました。 ・長所だけではなく短所も書いて、対比するともっとわかりやすいことが分かったので、自分もまねしたいと思いました。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次時の課題を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・筆者が一番伝えたいことが書いてある叙述に線を引く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「今日の説明の工夫について自分の考えを書く。」という観点で、まとめさせる。 															